

日本画学科

学科理念・教育目標

日本画は、東洋画の長い伝統を受け継ぎながら、西洋の文化の影響を大きく吸収して今日に至っています。日本人の感性に宿る独特な美意識と精神性は、日本の豊潤な風土や歴史により育まれてきました。そこから生まれる独自の文化や造形、材料、技法をしっかりと受け止めながら、今日の日本画は新しい絵画表現として世界の美術の中でも独特な位置を占めています。日本画に関わる全ての素材（支持体、描画材、絵具、接着剤等）の特色を学ぶことは、素材や技法の習得に留まらずに、歴史を学ぶことにも繋がるのです。現代から近代、江戸から室町、より遡れば奈良、古墳時代まで、日本画をキーワードとして放たれたベクトルは、様々な作品を浮かび上がらせ、多様で新たな絵画表現を生み出す可能性に満ちています。

本学科は、日本画の基礎的な専門技法を習得し、日本独自の文化を背景に保持してきた伝統を現代の表現として展開し、個性豊かに創造する力を育てることを目的としています。

造形学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

- DP1 専門的な知識を理解し深めることができる。
- DP2 専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
- DP3 制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
- DP4 他者に伝える表現能力および他者とともを考える対話能力を身につけている。
- DP5 批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
- DP6 論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
- DP7 制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
造形総合 科目	I 類必修	造形総合・デザイン I	造形総合・彫刻 I		
	I 類選択必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II			
学科別科目	I 類必修	日本画基礎 I 日本画基礎 III 日本画基礎 II 絵画基礎 I	日本画基礎 IV 日本画基礎 VII 絵画基礎 II 絵画基礎 III	絵画実習 II 絵画実習 IV 絵画実習 III 絵画実習 V 絵画実習 VI	絵画実習 VII 絵画実習 VIII
	I 類選択必修	造形基礎・選択 日本画 造形基礎・選択 油絵 造形基礎・選択 版画 造形基礎・選択 彫刻 デザイン基礎(映像メディア表現を含む)	日本画基礎 VI 日本画基礎 V 工芸制作 I デザイン II	工芸制作 II 絵画実習 I	
	II 類選択必修		Art&Communication I Art&Communication II	Art&Communication III - 1 Art&Communication III - 2	
卒業制作					卒業制作